

抗菌製品技術協議会

KOHKIN =抗菌

概要

抗菌製品技術協議会は、適正で安心して使用できる抗菌加工製品の普及を目的に1998年に抗菌剤メーカー、抗菌加工製品メーカー、試験評価機関により設立された団体です。

当協議会では、消費者が安心して使用できる優良な抗菌加工製品(抗菌剤)を提供する為安全性基準と品質管理のための「抗菌性能基準」を自主規格として制定し、会員の自主管理システムとして運用しています。(会員数 232社)

活動

優良な抗菌加工製品の普及を目的に以下を制定しています。

- ★品質と安全性に関する自主規格及びデータの自主登録規定
- ★抗菌製品・抗菌剤の表示・用語等に関する規定
- ★「SIAAマーク」の運用規定
- ★抗菌管理責任者規定、抗菌試験管理士規定
- ★防カビ剤ポジティブリスト運用規定

消費者及び関係業界への普及啓発を図る為、以下の活動を展開しています。

- ☆抗菌製品向上専門委員会を設置し、開かれた協議会運営
- ☆抗菌加工製品の市場調査
- ☆業界団体との情報交換、講演会、セミナー等の開催
- ☆国際微生物劣化研究グループ (IBRG) との連携
- ☆ホームページによる各種情報発信

SIAAマークとは

SIAAマークは協議会が定めるガイドラインを満たし、適合した抗菌加工製品・抗菌剤に対して会員が自己責任において認証する「自己認証を表明するマーク」です。



抗菌評価試験



さまざまな分野に広がる抗菌加工製品

日用品、家電、住宅建材・設備、自動車部品、印刷物など



抗菌製品技術協議会 事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-3 西新宿ダイヤモンドパレス812
TEL:03-6302-0021 FAX:03-6302-0071

編集後記

トップニュースとリサイクルの現場で、(株)タケエイと日本壁装協会のそれぞれタイルカーペットと壁紙のリサイクルへの取り組みを紹介しています。どちらも製品としての優秀さから新築だけでなく常に張替え需要が発生する製品で、廃棄量も多いことから新たなリサイクル技術やシステムの開発が望まれていました。2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、競技施設や選手の居住施設などが建設され、タイルカーペットや壁紙の需要も増えることが期待されます(その他の塩ビ製品ももちろんですが)。持続可能性のある塩ビ製品の普及を図るためにはリサイクル技術・システムの充実がセットで必要になり、大きなアピールポイントになります。

インフォメーション1で塩ビ管・継ぎ手協会の3カ年で全国の75自治体を中心に訪問し塩ビ管の普及を図る活動を紹介しています。大変地道な活動ですが、同協会がリサイクルの取組みとして全国に廃パイプの回収拠点を設けているために出来る活動でもあり、やはりリサイクルできるという点が重要であると感じています。(小坂田史雄)

お問い合わせ先

塩化ビニル環境対策協議会 Japan PVC Environmental Affairs Council

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友六甲ビル8F) TEL 03(3297)5601 FAX 03(3297)5783